

景観保全型広告整備地区 「旧東海道沿道京町通り地区」

基本構想

大津祭を初め、歴史と文化が蓄積された、本市の中心市街地である当該地域は、かつて、大津百町と称され、旧東海道沿道の歴史的な町家や歴史資産が多く残る地域となっている。また、町家を中心に、歴史的な町並みの維持や再生を目的とした、まちなみ協定の締結や、旧東海道の歴史ある町並み景観の形成を目的とした、地区計画を策定するなど、住環境を保全するための活動を、住民主導で積極的に行っている地域でもある。

上記の内容を踏まえ、当該景観保全型広告整備地区にあるべき屋外広告物の姿を以下に掲げる。

1. 旧東海道のまちなみを引き立て、来訪者にも親しまれる。
2. 大津百町の歴史的なまちなみ保全・再生に寄与する。
3. 地域の住民や事業者が愛着・誇りをもつことができる。